

## 平成23年第11回国立大学法人旭川医科大学役員会議事要旨

1. 日時 : 平成23年12月14日(水) 8:30~8:42
2. 場所 : 第二会議室
3. 出席者 : 吉田 晃敏学長, 笹嶋 唯博理事, 松野 丈夫理事, 飯塚 一理事,  
竹中 英泰理事
4. 陪席者 : 宮森 雅司監事, 前田 敬道監事, 伊藤事務局長, 太田学長政策推進室長,  
佐藤監査室長, 中村総務部長, 高橋病院事務部長, 石ヶ森教務部長,  
山内総務課長, 藤井企画評価課長, 今田会計課長, 中西施設課長, 堤総務課長補佐,  
松井総務係長, 山村総務係主任

議事に先立ち、学長から、第10回役員会(平成23年11月9日開催)の議事要旨が諮られ、これが了承された。

### 報告事項

#### 1. 学長報告

学長から、次のとおり報告があった。

##### (1) 平成23年度国立大学法人施設整備費補助金(大学教育研究特別整備費)補助事業について

医学科入学定員を22名増員してきたことなどにより、臨床講義棟講義室の座席不足が見込まれていたこと。この度、文部科学省から、資料1のとおり「医学科定員増に伴う臨床第2・第3講義室及びロッカー室改修事業」の予算が措置されたこと。事業内容は、臨床第2及び第3講義室の座席を増やすとともに、視聴覚設備を更新すること。また、隣接するロッカー室の更新・増設とセキュリティ向上のための出入口管理システムを導入すること。

##### (2) 平成23年度第3次補正予算について

文部科学省から、資料2-1のとおり平成23年度第3次補正予算の予定事業2件の通知があったこと。1件目は講義実習棟の改修工事であり、2年計画のI期目の予算措置であること。資料2-2のとおり計画し、詳細はプロジェクトチームを作り検討すること。2件目は基幹・環境整備として、老朽化した自家発電設備の更新であり、災害時に求められる診療・研究機能の確保のために予算措置されたこと。

##### (3) MRI(3テスラ)の導入について

MRIは3台保有しているが、すべて1.5テスラであり、平成14年度に導入したものは耐用年数を超えていること。この度、高度な撮像機能の向上と高磁場環境による検査の安全性と効率化を目的に、3テスラのMRIに更新して研究・診療レベルの向上を図ること。

**(4) 人工透析室の増床工事終了及び稼働開始について**

中西施設課長から、資料3に基づき、人工透析室を移転して3床から6床に増床する工事が11月18日に完了し、11月28日より新透析室として稼働開始したことの説明があった。

**(5) 本学初の生体肝移植の実施について**

資料4の新聞報道のとおり、外科学講座（消化器病態外科学分野）の古川教授を中心として、本学初の生体肝移植手術を10月下旬と11月上旬に実施したこと。院内のスタッフ及び北海道大学病院の藤堂特任教授のグループの協力により、無事に終了したこと。なお、特定機能病院として、先端医療をさらに推進していきたいと考えていること。

**次回の開催予定**

次回役員会は、平成24年1月11日（水）午前8時30分から開催すること。

以上